

阪南港港湾計画（改訂）

1．阪南港への要請

【現 況】

阪南港は、大阪湾東部のほぼ中央に位置し、岸和田市・貝塚市・泉北郡忠岡町にまたがる港湾で、昭和43年に岸和田港、貝塚港及び忠岡港を統合し、重要港湾に指定された。

昭和40年代の木材コンビナートの建設を契機に府下有数の木材産業団地として、原木輸入の増大に対応してきた。現在では堺泉北港と合わせて日本一の合板輸入の取扱量を誇るなど、大阪の経済・産業活動を支えている。また、立地優遇策等の創設により臨海部への企業立地が進展している。さらに、浚渫土を活用した人工干潟の整備など自然環境の創造も進めている。

【計画改訂の背景】

阪南港においては、企業の貨物需要に的確に対応し、南大阪地域の物流拠点として、より一層の物流の効率化を図るとともに、旅客需要への対応が必要である。

また、大阪湾の環境再生を目指した「大阪湾再生行動計画」が策定されるなど、潮流等を利用した大阪湾の水質改善や自然環境の創造による生物の生息空間の形成、豊かで快適な海辺環境の創造が求められている。

また、海との触れ合いへのニーズに対応し、憩い空間としての水際線の開放を図るとともに、みなとのにぎわいをより一層高めるため、臨海部に立地する交流施設の連携を図ることが必要である。

さらに、地震など災害時に地域住民の生活物資等を輸送するため、防災機能を有した港湾空間の早期整備が求められている。

2．計画の基本方針

関西国際空港に近接し、背後に良好な広域交通アクセスを有し、また大阪湾の最南部に位置する重要港湾という立地条件を活かし、「地域の活力、憩い、安心を生み出す『阪南港』」を実現するため、平成20年代後半を目標年次として、物流、交流、環境、安全の4つの機能別に以下の方針を定め、港湾計画を改訂するものである。

1）物流（環境負荷の低減と高まる物流・旅客需要への対応）

- ・ 環境負荷の低減と高まる物流・旅客需要に対応するため、フェリーターミナル機能を導入。
- ・ 背後圏の港湾物流需要に対応した物流機能の強化。

2）交流（にぎわい・交流拠点の形成）

- ・ 海洋性レクリエーション需要に応じた適切なマリーナ配置。
- ・ にぎわい拠点等を結ぶ遊覧観光ネットワーク構築を目指し、既設施設の活用による旅客船埠頭の機能強化。

3）環境（水質の向上、快適な親水空間と生物生息空間等の形成）

- ・ 大規模な緑地、干潟、海浜など陸域部と海域部が連携した自然環境の創造や、外郭施設の再配置による海水交換の促進等による一層の水質改善。
- ・ 人々が憩い、海や生き物と触れ合うことができる水際線によるみなとの魅力向上。

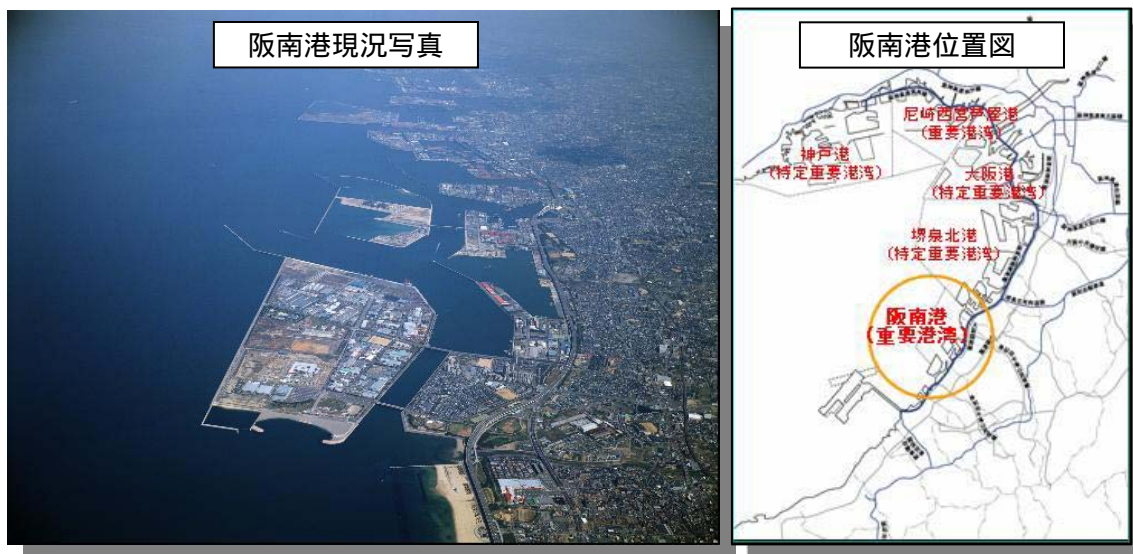
4）安全（大規模災害への対応）

- ・ 大規模地震災害時における緊急物資輸送等のため、耐震性の高い港湾施設を整備。
- ・ 港内の船舶航行の安全確保に向けた作業船等小型船の集約。

港湾管理者連絡先：大阪府港湾局企画部計画課

ひろせ とだ 廣瀬、戸田 （TEL 06-6944-4423、FAX 06-6941-0609）

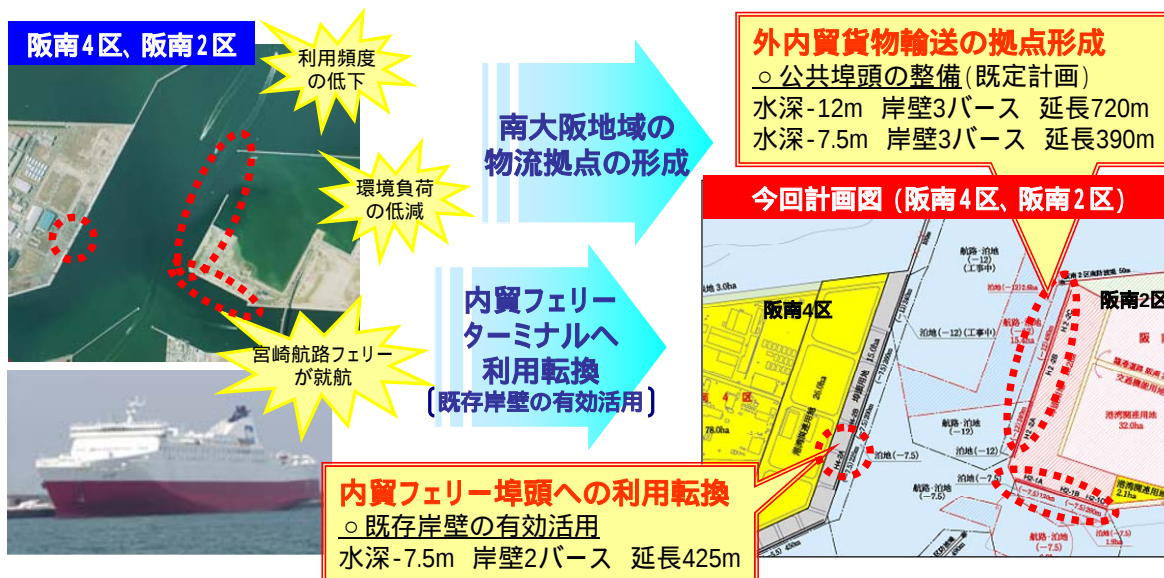
3．阪南港の位置



4．計画の概要

【物流：環境負荷の低減と高まる物流・旅客需要への対応】

- ・ 阪南港における外内貿貨物輸送の拠点としての機能を適正に確保するため、阪南2区において、公共埠頭を計画する。
- ・ 既存岸壁の有効活用を図るとともに、フェリー輸送需要に対応し、また、環境負荷の低減に寄与するため、阪南4区において、公共フェリー埠頭を計画する。



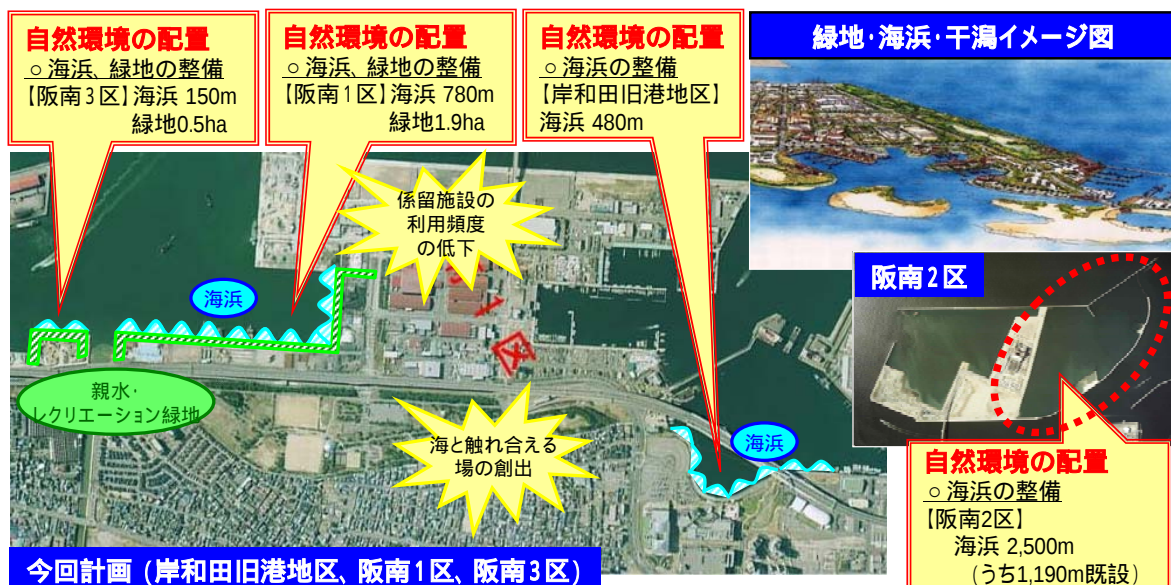
【交流：にぎわい・交流拠点の形成】

- ・ 商業・住宅等の施設立地が進む岸和田旧港地区において、一層のにぎわい・交流空間の形成を図るため、遊覧ネットワーク構築のための旅客船埠頭を計画する。
- ・ 海洋性レクリエーション需要の増大に対応し、適正な水域利用を図るため、マリナーを計画する。



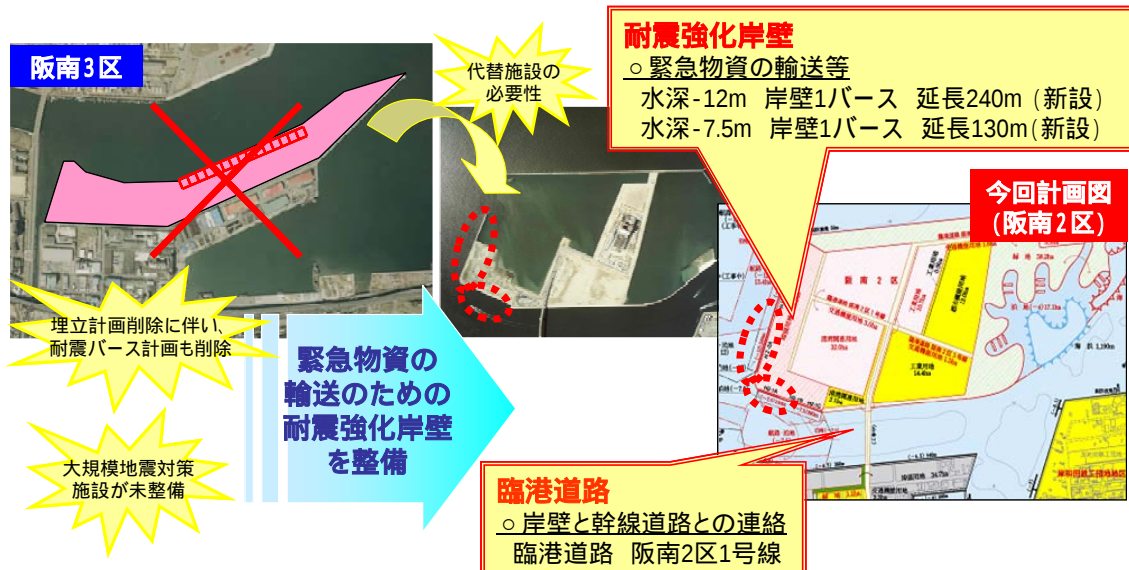
【環境：水質の向上、快適な親水空間と生物生息空間等の形成】

- ・ 水辺の特性を活かした景観形成、快適な水際空間の創出、親水空間の連続性及び生物の生息空間を確保するため、海浜及び緑地を計画する。



【安全：大規模地震災害への対応】

- 大規模地震災害時における緊急物資等の輸送に対応するため、今回埋立計画を削除する阪南3区の耐震強化岸壁の代替施設として、阪南2区において大規模地震対策施設を計画する。



【その他】需要に応じた埋立計画の削除

- 経済社会情勢の変化により、貨物需要や土地需要が低下したため、阪南3区及び木材港地区において埋立計画を削除する。

